

平成17年度 行財政改革に関する 職員アンケート調査結果

平成17年2月に大淀町における新たな行財政改革の指針として、リフォームプランおおよどを策定しました。平成17年度からは、リフォームプランおおよどに基づき本格的に全ての職員が一丸となって行財政改革を推進することになります。

そこで今回の調査は、今後、行財政改革を進めるにあたり、職員の率直な意向を把握するとともに、昨年度実施した同内容の調査と比較検討するために行うものです。

実施内容

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1 調査対象 | 大淀町の職員で一般職の全ての職員(教育長を除く。) |
| 2 調査期間 | 平成17年5月9日(月)から平成17年5月18日(水)まで |
| 3 対象職員数 | 475人 |
| 4 回答者数 | 336人 |
| 5 回収率 | 70.74% |

行財政改革に関する職員アンケート調査票

下記の設問でそれぞれ該当するものの数字を回答用紙に入力してください。

あなたご自身についておたずねします。

1 年齢

～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～
1	2	3	4

2 性別

男性	女性
1	2

3 勤務場所

本庁	水道部または病院	派遣等	それ以外
1	2	3	4

4 居住地

大淀町内	大淀町外
1	2

5 管理職手当の受給の有無

管理職手当の支給を受けている方	1
上記以外の方	2

職場環境等について

1 現在の仕事に対して、やりがいを感じていますか。

大いに感じている	1
感じている	2
どちらとも言えない	3
感じていない	4
まったく感じていない	5

2 現在の仕事以外の職務（課内、課外、他業種等）に興味がありますか。

大いに興味がある	1
興味がある	2
どちらとも言えない	3
あまり興味がない	4
まったく興味がない	5

3 仕事について議論（ディスカッション、意見交換）していますか。

大いに議論している	1
議論している	2
議論がしたくてもできない	3
議論をする必要がない	4

4 現在の職場の雰囲気満足していますか。

大いに満足している	1
満足している	2
どちらとも言えない	3
不満	4
大いに不満	5

5 現在の人事管理（異動、昇任、研修等）に満足していますか。

大いに満足している	1
満足している	2
どちらとも言えない	3
不満	4
大いに不満	5

6 今後の人事管理において、能力、実績等を明確なカタチで処遇に反映させる必要があると思います

まったくそのとおり	1
どちらと言えばそのとおり	2
どちらとも言えない	3
どちらかと言えば必要ない	4
まったく必要ない	5

7 現在の勤務条件（給料、休暇等）に満足していますか。

大いに満足している	1
満足している	2
どちらとも言えない	3
不満	4
大いに不満	5

8 総合的に考慮して、大淀町の職員として満足していますか。

大いに満足している	1
満足している	2
どちらとも言えない	3
不満	4
大いに不満	5

現状について

1 国が進めている「三位一体の改革」を知っていますか。

内容を理解している	1
内容をある程度知っている	2
「三位一体の改革」という言葉は知っている	3
まったく知らない	4

2 これまでと比較して大淀町に交付される地方交付税交付金が大幅に削減されていることを知っていますか。

よく知っている	1
新聞等で話題になっているのである程度知っている	2
わからない	3

3 大淀町の基金と起債の現状を知っていますか。

現状を理解している	1
現状をある程度知っている	2
わからない	3

4 大淀町の財政は健全であると思いますか。

思う	1
思わない	2
わからない	3

5 大淀町の住民は、現在の住民サービスに満足していると思いますか。

思う	1
思わない	2
わからない	3

行財政改革について

1 大淀町は、昭和60年及び平成10年に行政改革大綱を策定し、これまでも行財政改革に取り組んでいることを知っていますか。

大綱の内容を理解している	1
大綱があることは知っている	2
行財政改革に取り組んでいることは知っている	3
まったく知らない	4

2 これまでの行財政改革の取り組みは、効果が出ていると思いますか。

非常に効果が出ていると思う	1
効果が出ていると思う	2
効果は出ていない	3
わからない	4

3 リフォームプランおおよどを知っていますか。

内容を理解している	1
策定されたことは知っている	2
行財政改革に取り組んでいることは知っている	3
まったく知らない	4

4 今後、行財政改革が必要であると思いますか。

今すぐ必要である	1
どちらかといえば必要である	2
必要はない	3
わからない	4

5 今後、行財政改革に取り組むとした場合、次の各項目はどの程度必要があると思いますか。

	項 目	即刻必要	いずれ必要	不必要	わからない
(1)	大規模ハード事業の抑制 例：施設建設の抑制、計画の変更	1	2	3	4
(2)	現有施設の統廃合 例：同種施設の統合 稼働率の低い施設の閉鎖	1	2	3	4
(3)	事務事業の見直しまたは簡素化 例：単独事業の抑制、縮小、廃止 事務の合理化による経費の節減 審議会、協議会等の見直し	1	2	3	4
(4)	行政評価（内部・外部）の確立 例：事業評価の実施、公表 外部評価制度の導入	1	2	3	4
(5)	受益者負担の適正化 例：使用料、負担金等の見直し 補助金、交付金等の見直し	1	2	3	4
(6)	歳入の確保 例：雇用及び定住促進 新たな自主財源の創設 税金の徴収率の向上対策	1	2	3	4
(7)	人件費の削減 例：職員数の削減 給与、手当等の見直し	1	2	3	4
(8)	組織及び機構の見直し 例：グループ制による組織のフラット化 部制の廃止 事務分掌の見直し	1	2	3	4
(9)	アウトソーシングの推進 例：専門業務の民間委託 公共施設（事業）の民間委託	1	2	3	4
(10)	住民との協働 例：積極的な情報提供 パートナー制度の創設 行政と住民の役割分担	1	2	3	4
(11)	職員の意識改革	1	2	3	4
(12)	市町村合併について	1	2	3	4

次のことについて、意見等があれば回答用紙に入力してください。

から の各設問に関する意見・改善提案

から の各設問のなかで、特に問題であると感じること、留意すべきことなど、意見があればその設問番号と意見をご記入ください。

自由記入欄

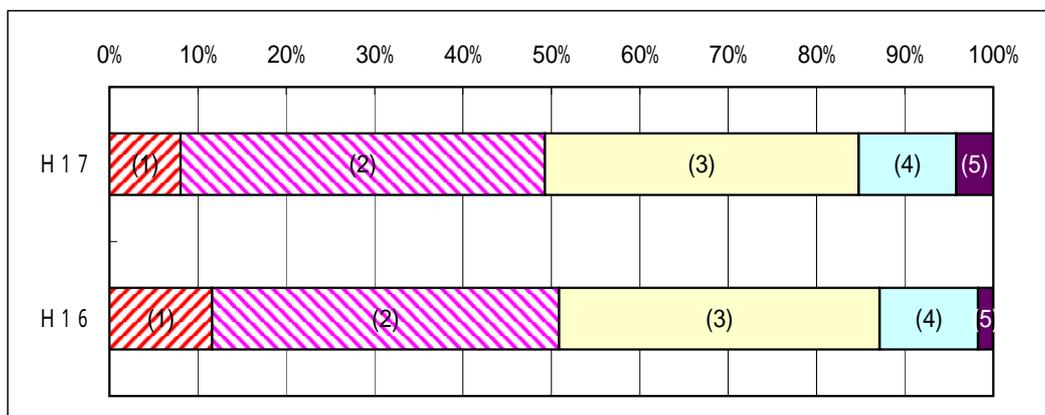
から の設問にかかわらず、町の組織や職員のあり方、リフォームプランおよび全般に関することやそれぞれのアクションプランの内容に関すること、町政全般にわたって課題と思うことや具体的な提案などがあれば、どのような意見でも結構ですので、ご記入ください。

「行財政改革に関する職員アンケート」集計

	平成17年度結果		平成16年度結果		比較
調査対象職員数	475		491		-16
回答者数	336		405		-69
回収率	70.74%		82.48%		-11.75%
- 1 年齢					
	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比の比較
(1) ~ 29歳	41	12.2%	70	17.3%	-5.1%
(2) 30 ~ 39歳	96	28.6%	117	28.9%	-0.3%
(3) 40 ~ 49歳	113	33.6%	115	28.4%	5.2%
(4) 50歳~	77	22.9%	99	24.4%	-1.5%
無回答	9	2.7%	4	1.0%	1.7%
計	336	100.0%	405	100.0%	
- 2 性別					
	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比の比較
(1) 男	145	43.2%	165	40.7%	2.4%
(2) 女	183	54.5%	237	58.5%	-4.1%
無回答	8	2.4%	3	0.7%	1.6%
計	336	100.0%	405	100.0%	
- 3 勤務場所					
	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比の比較
(1) 本庁	106	31.5%	106	26.2%	5.4%
(2) 水道・病院	125	37.2%	190	46.9%	-9.7%
(3) 派遣等	31	9.2%	27	6.7%	2.6%
(4) その他	66	19.6%	79	19.5%	0.1%
無回答	8	2.4%	3	0.7%	1.6%
計	336	100.0%	405	100.0%	
- 4 居住地					
	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比の比較
(1) 大淀町内	193	57.4%	227	56.0%	1.4%
(2) 大淀町外	135	40.2%	175	43.2%	-3.0%
無回答	8	2.4%	3	0.7%	1.6%
計	336	100.0%	405	100.0%	
- 5 管理職手当有無					
	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比の比較
(1) 受けている	62	18.5%	84	20.8%	-2.4%
(2) 受けていない	262	78.0%	314	77.9%	0.1%
無回答	12	3.6%	5	1.2%	2.3%
計	336	100.0%	403	100.0%	

- 1 現在の仕事にやりがいを感じていますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに感じている	27	8.0%	47	11.6%	-3.6%
(2) 感じている	138	41.1%	159	39.3%	1.8%
(3) どちらとも言えない	119	35.4%	147	36.3%	-0.9%
(4) 感じていない	37	11.0%	45	11.1%	-0.1%
(5) 全く感じていない	14	4.2%	7	1.7%	2.4%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0.3%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

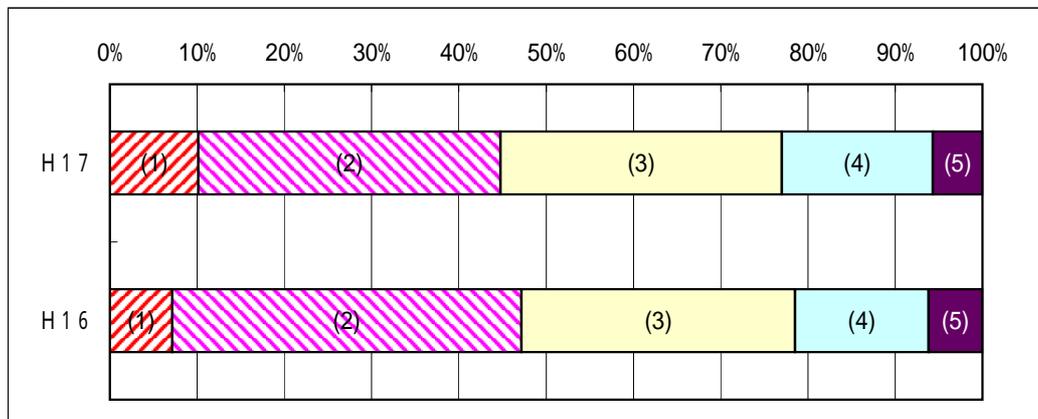
- ・ 昨年と比較すると、「大いに感じている」と回答した者の割合がやや減り、「全く感じていない」と回答した者の割合がやや増えている。
- ・ クロス集計をおこなうと、-4の「職場の雰囲気に満足していますか」という問いに対し、「大いに満足している」または「満足している」と答えた者のうち、本設問に対し「大いに感じている」または「感じている」と答えた者の割合が74%。逆に -4の問いに対し、「不満」または「大いに不満」と答えた者のうち、本設問に対し「感じていない」または「まったく感じていない」と答えた者の割合が38%といずれも高い数値を示した。

【対応策】

- ・ 「やりがいを感じていない」原因は直接的には分析できないが、アクションプランの「意識改革」を実施することによって解消をめざす。
- ・ 管理職においては、意見、改善提案にもあるように、日頃から職員の志気を高めるように努める。

- 2 現在の仕事以外の職務に興味がありますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに興味がある	34	10.1%	29	7.2%	3.0%
(2) 興味がある	116	34.5%	162	40.0%	-5.5%
(3) どちらとも言えない	108	32.1%	127	31.4%	0.8%
(4) あまり興味がない	58	17.3%	62	15.3%	2.0%
(5) 全く興味がない	19	5.7%	25	6.2%	-0.5%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0.3%
計	336	100.0%	405	100.0%	



[分析]

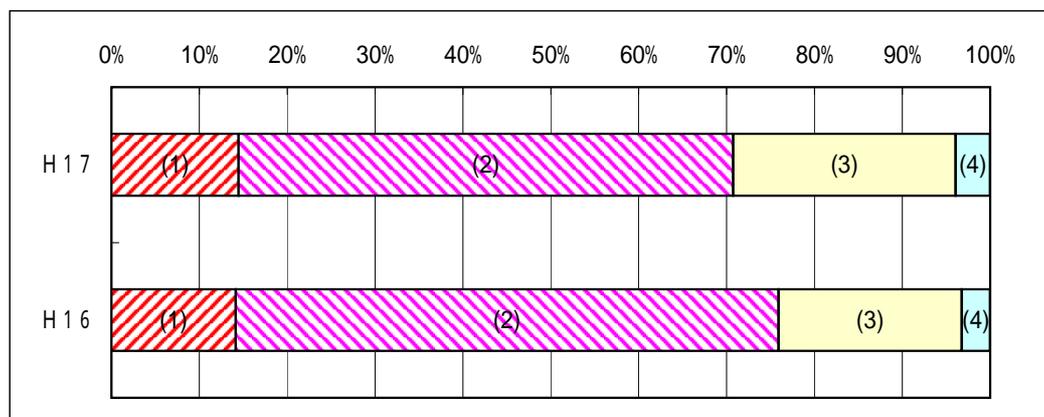
- ・ 昨年と比較すると、「大いに興味がある」と回答した者は増加したが、「興味がある」と回答した者が減少した。
- ・ クロス集計による年齢別の結果を見てみると、29歳以下では「大いに興味がある」または「興味がある」と回答した割合が61%と全体の割合よりも高くなっている。

[対応策]

- ・ 「他の仕事に興味がある」と答えた者の意欲をくみ取るためにも、アクションプランの「意識改革」における希望人事制度や定期的な異動の実現、「組織改革」の組織のフラット化の実現をはかる。また、「興味がない」と答えた者も、組織のフラット化や定期的な異動の実現により、他の仕事への興味が湧いてくるのではないかと考える。

- 3 仕事について議論していますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに議論している	48	14.3%	57	14.1%	0.2%
(2) 議論している	187	55.7%	249	61.5%	-5.8%
(3) 議論がしたくてもできない	84	25.0%	84	20.7%	4.3%
(4) 議論をする必要がない	13	3.9%	13	3.2%	0.7%
無回答	4	1.2%	2	0.5%	0.7%
計	336	100.0%	405	100.0%	



[分析]

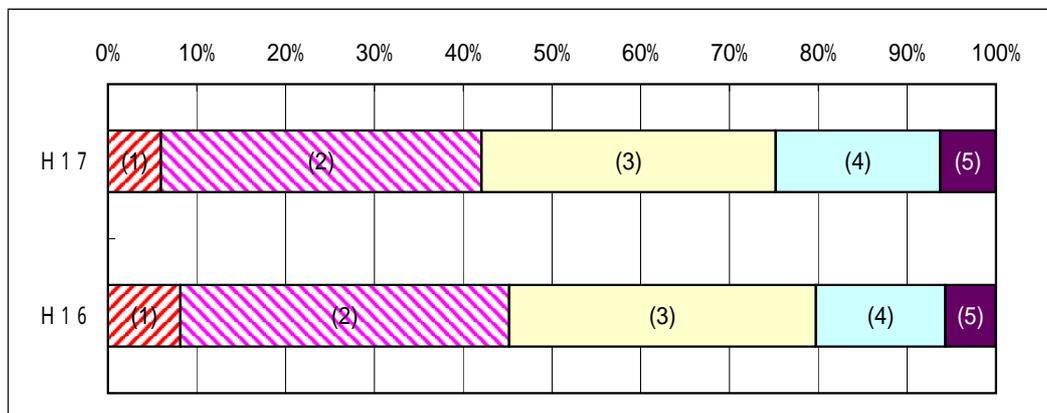
- ・ 昨年と比較すると、「議論している」と回答した者がやや減少し、「議論がしたくてもできない」と回答した者がやや増加している。

[対応策]

- ・ 「議論がしたくてもできない」という対策として、アクションプラン「意識改革」の職員間の積極的な意見交換ができる環境をつくるや、「組織改革」の職員間のコミュニケーション推進を実現することで解消をめざす。

- 4 現在の職場の雰囲気満足していますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに満足している	20	6.0%	33	8.1%	-2.2%
(2) 満足している	121	36.0%	150	37.0%	-1.0%
(3) どちらとも言えない	111	33.0%	140	34.6%	-1.5%
(4) 不満	62	18.5%	59	14.6%	3.9%
(5) 大いに不満	21	6.3%	23	5.7%	0.6%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0.3%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

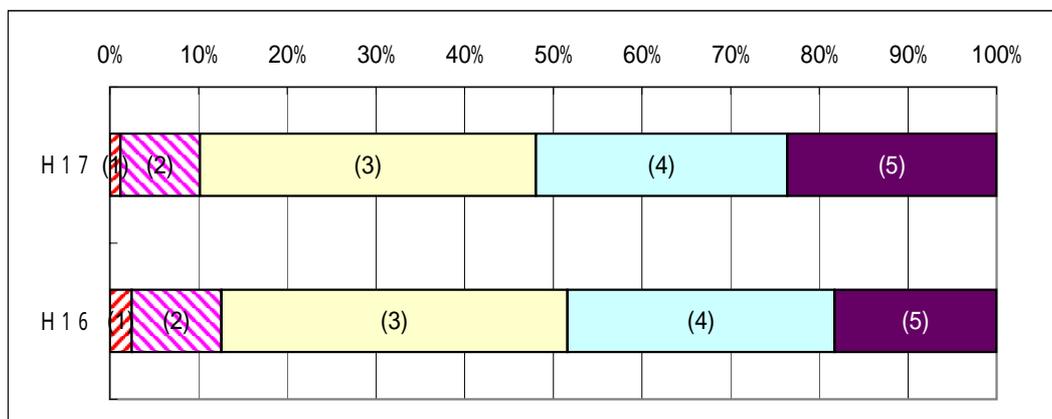
- ・ 昨年比較すると、「大いに満足している」または「満足している」と答えた者がやや減少し、「不満」または「大いに不満」と答えた者がやや増加している。
- ・ - 1の分析でも述べたが、「職場の雰囲気」と「仕事のやりがい」は比例するところが大きい。
- ・ クロス集計をおこなうと、「職場の雰囲気に満足している」者は - 8の「総合的に考慮して、大淀町の職員として満足」しており、「職場の雰囲気に不満」がある者は「総合的に考慮して、大淀町の職員として不満」である者が多い。

【対応策】

- ・ アクションプラン「意識改革」および「組織改革」において、いくらかはその解消をはかることができると考えるが、今回の「リフォームプランおおよど」には直接的に「職場の雰囲気づくり」を示したアクションプランはない。したがって、別途対策を講じることも検討しなければならない。

- 5 現在の人事管理に満足していますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに満足している	4	1.2%	10	2.5%	-1.3%
(2) 満足している	30	8.9%	41	10.1%	-1.2%
(3) どちらとも言えない	127	37.8%	158	39.0%	-1.2%
(4) 不満	95	28.3%	122	30.1%	-1.8%
(5) 大いに不満	79	23.5%	74	18.3%	5.2%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0.3%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

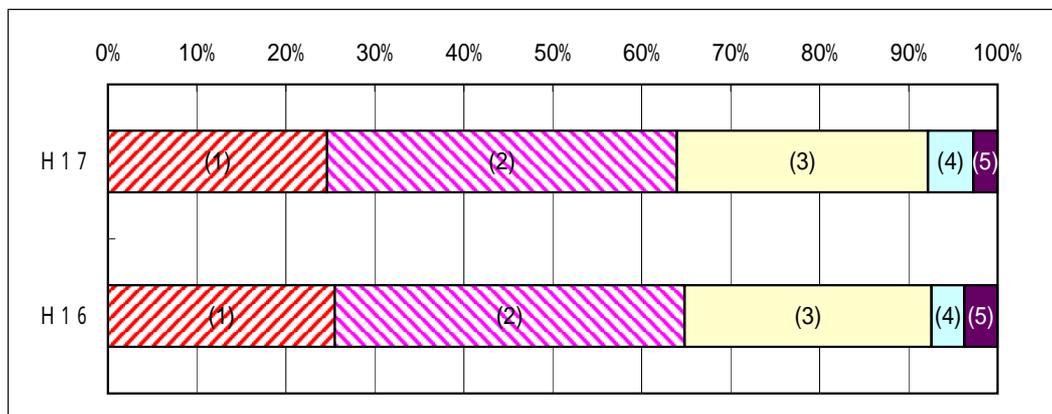
- ・「大いに満足している」または「満足している」と回答した者がわずかに減って合わせて10.1%、「不満」または「大いに不満」と回答した者が、わずかに増えて合わせて51.8%という結果となった。
- ・意見、改善提案を見てみると、「人事異動は計画的に行うべき」との記述が多い。

【対応策】

- ・アクションプラン「意識改革」および「組織改革」における意欲を高める人事制度の実現、定期的な異動の実現、定員管理計画の策定など、人事のあり方を早急に検討し実施する必要がある。

- 6 今後の人事管理において、能力、実績等を明確なかたちで処遇に反映させる必要
があると思いますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) まったくそのとおり	82	24.4%	103	25.5%	-1.1%
(2) どちらかといえばそのとおり	131	39.0%	159	39.4%	-0.4%
(3) どちらとも言えない	94	28.0%	112	27.7%	0.3%
(4) どちらかといえば必要ない	17	5.1%	15	3.7%	1.3%
(5) まったく必要ない	9	2.7%	15	3.7%	-1.0%
無回答	3	0.9%	0	0.0%	0.9%
計	336	100.0%	404	100.0%	



【分析】

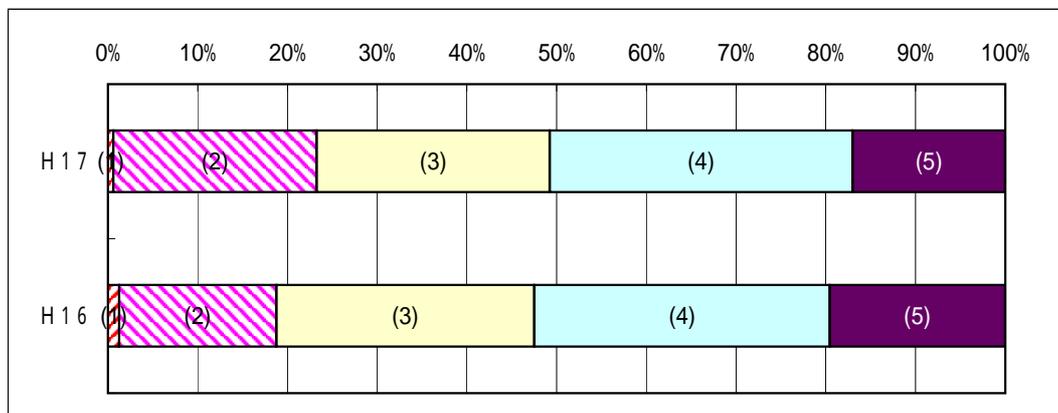
- ・ 昨年との数値の変化はほとんどみられない。
- ・ 勤務場所別のデータを見ると、「水道・病院」に勤務する職員が「まったくそのとおり」または「どちらかといえばそのとおり」と回答している者が合計で75.2%と、全体と比較してやや多い。
- ・ 意見、改善提案を見てみると、能力や実績等を処遇に反映させる必要性には理解を示しているものの、その能力や実績等の評価をだれがどのように行うのかなどの意見や、能力や実績だけでなく、やる気も評価の対象にいられてはどうかなど評価する項目に対する意見が多い。

【対応策】

- ・ アクションプラン「意識改革」および「組織改革」における人事評価制度の導入を進めていき、処遇への反映も進めていかなければならないと考える。一方で必要ないと答えている者もいることや、評価の方法について不安に感じている者もいることから、導入にあたっては職員への十分な説明と理解を求めることが必要であると考える。

- 7 現在の勤務条件に満足していますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに満足している	2	0.6%	5	1.2%	-0.6%
(2) 満足している	76	22.6%	71	17.6%	5.0%
(3) どちらとも言えない	87	25.9%	116	28.7%	-2.8%
(4) 不満	113	33.6%	133	32.9%	0.7%
(5) 大いに不満	57	17.0%	79	19.6%	-2.6%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0.3%
計	336	100.0%	404	100.0%	



【分析】

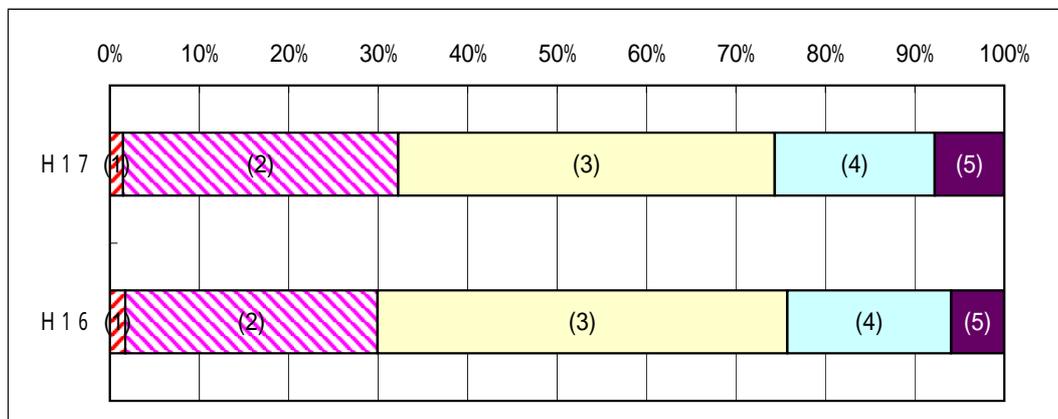
- ・ 昨年と比較すると、「満足している」と回答している者がやや増加している。
- ・ クロス集計による男女別では、男性よりも女性の方が満足度が低い。
- ・ 勤務場所別では、「本庁」の職員が満足度が比較的高く、「水道・病院」、「派遣等」の職員の満足度が比較的低い。
- ・ 意見、改善提案の記入があった者の勤務場所は、ほとんどが水道・病院である。

【対応策】

- ・ アクションプラン「組織改革」の人事給与制度の見直しを進めることでいくらかの不満の解消はできると考える。
- ・ 水道・病院(特に病院)においては、人員不足が原因と見られる意見が上がっていることから、早急な対応が必要と考える。
- ・ 今回の「リフォームプランおおよど」には、勤務条件に対する満足度を直接的に改善するための項目は示していないため、別途対策を講じる必要があるか検討しなければならない。特に、メンタル的なケアが必要であると考え。

- 8 総合的に考慮して、大淀町の職員として満足していますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大いに満足している	5	1.5%	7	1.7%	-0.2%
(2) 満足している	103	30.7%	114	28.1%	2.5%
(3) どちらとも言えない	141	42.0%	185	45.7%	-3.7%
(4) 不満	60	17.9%	74	18.3%	-0.4%
(5) 大いに不満	26	7.7%	24	5.9%	1.8%
無回答	1	0.3%	1	0.2%	0.1%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

- ・ 昨年と比較して、数値的な変化はあまり見られない。
- ・ クロス集計をおこなうと、設問が「総合的に考慮して…」という問い方であるため、 - 1「仕事に関するやりがいを感じていますか」、 - 4「職場の雰囲気満足していますか」、 - 5「人事管理に満足していますか」のそれぞれの満足度とおおむね比例している。

【対応策】

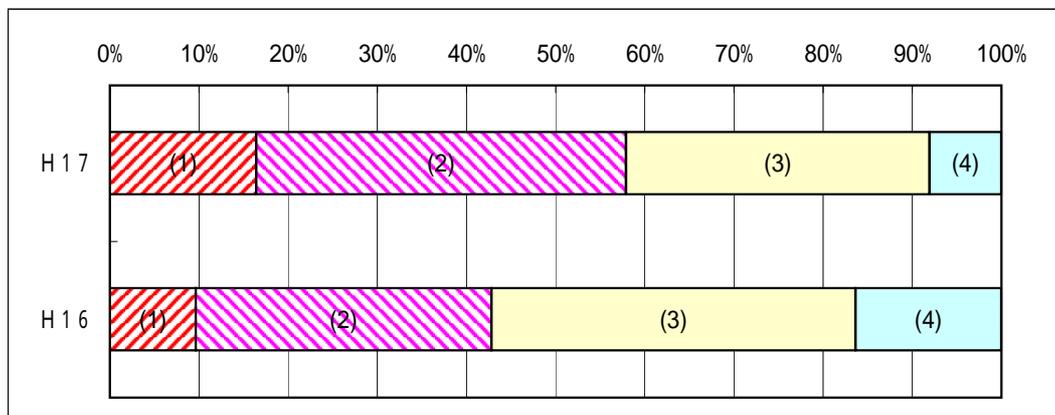
- ・ の各項目の対応策それぞれを実施していくことに伴って、町職員の満足度は上がっていくのではないかと考える。

【全体としての対応策】

- ・ 全体としては、行財政改革という視点ではなく、大淀町の職員としての意識を問う質問となっている。そういう意味では、大淀町として決して良いとは言えない結果となっている。要因としては、外的要因と内的要因がある。主として外的要因の解決策としてはアクションプラン「組織改革」の実行、内的要因の解決策としてはアクションプラン「意識改革」の実行があげられる。それぞれの改革の重要性を改めて認識しなければならない。

- 1 「三位一体の改革」を知っていますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 内容を理解している	55	16.4%	39	9.6%	6.7%
(2) 内容をある程度知っている	139	41.4%	134	33.1%	8.3%
(3) 言葉は知っている	114	33.9%	165	40.7%	-6.8%
(4) まったく知らない	27	8.0%	66	16.3%	-8.3%
無回答	1	0.3%	1	0.2%	0.1%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

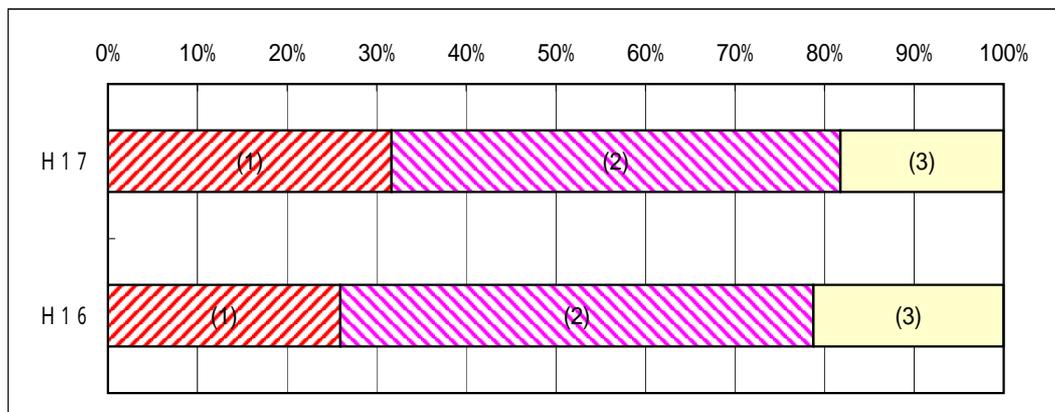
- ・ 昨年と比較して、「内容を理解している」、「内容をある程度知っている」と回答した者が増加し、「まったく知らない」と回答した者が減少している。
- ・ - 5「管理職手当の有無」別に見てみると、管理職手当を受けている職員では、「内容を理解している」と回答した者が40.3%、「内容をある程度知っている」と回答した者が46.8%と高い割合となっており、「まったく知らない」と回答した者は0であった。
- ・ クロス集計を行うと、「三位一体改革」の理解度と、 - 2「地方交付税が大幅に削減されていることを知っていますか」、 - 3「大淀町の基金と起債の現状を知っていますか」、 - 3「リフォームプランおおよど」の理解度とはそれぞれ比例している。

【対応策】

- ・ 地方公務員として、知る必要のある重要な国の動きの一つであることから、アクションプラン「意識改革」の意見交換や職員研修の中で一つのテーマとして取り上げる。
- ・ 「ある程度知っている」または「言葉は知っている」と回答した者については、意見、改善提案にも記述があったように、「三位一体の改革」が本町にどのように影響をおよぼすのかなどを中心に「三位一体の改革」の内容に対する理解度が深まるような研修、意見交換を積極的に行う。

- 2 交付税交付金が大幅に削減されてることを知っていますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) よく知っている	106	31.5%	105	25.9%	5.6%
(2) ある程度知っている	168	50.0%	214	52.8%	-2.8%
(3) わからない	61	18.2%	86	21.2%	-3.1%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0.3%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

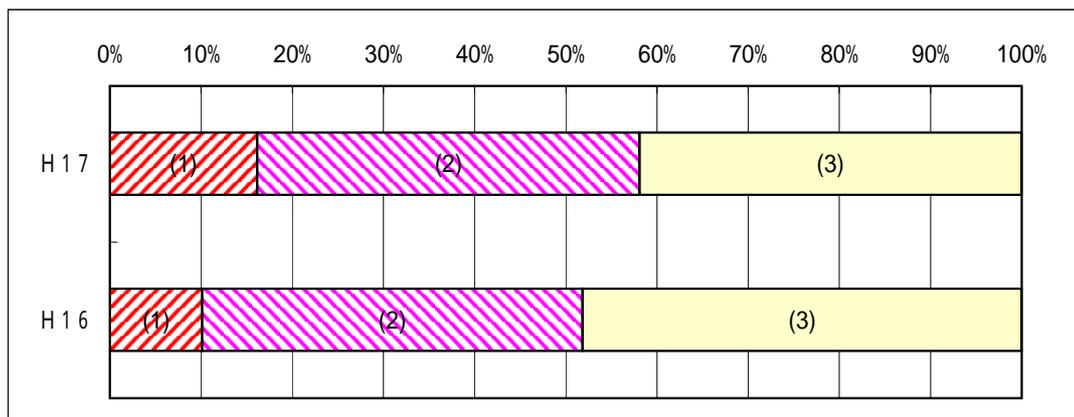
- ・ 昨年に引き続き「よく知っている」または「ある程度知っている」と回答した者が約8割を占めた。

【対応策】

- ・ 交付税交付金について、アクションプラン「意識改革」の意見交換や職員研修の中で一つのテーマとして取り上げ、内容を深く理解できるように努める。

- 3 大淀町の基金と起債の現状を知っていますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 現状を理解している	54	16.1%	41	10.1%	5.9%
(2) 現状をある程度知っている	140	41.7%	169	41.7%	-0.1%
(3) わからない	140	41.7%	195	48.1%	-6.5%
無回答	2	0.6%	0	0.0%	0.6%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

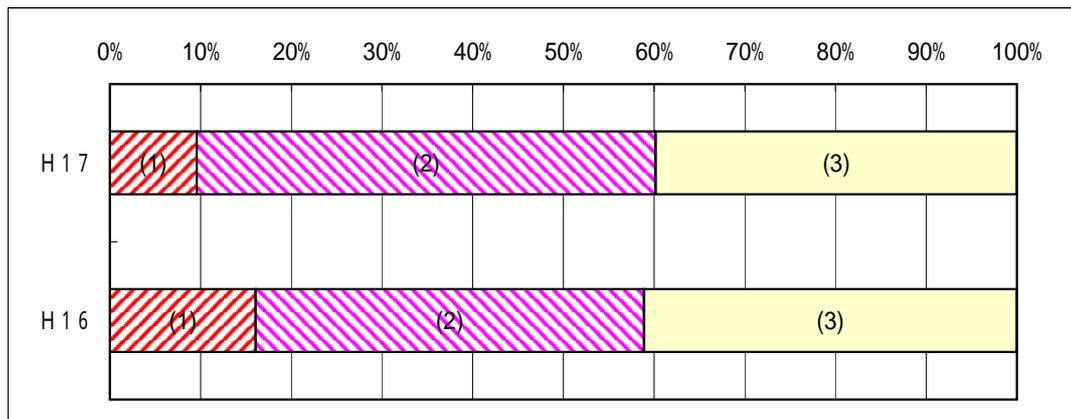
- ・ 昨年よりは理解度は上がったものの、未だ4割以上の職員が「わからない」と回答している。

【対応策】

- ・ アクションプラン「意識改革」における財政状況説明会を実施していくことで、理解度を高める。

- 4 大淀町の財政は健全であると思いますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 思う	32	9.5%	65	16.1%	-6.6%
(2) 思わない	169	50.3%	173	42.8%	7.5%
(3) わからない	133	39.6%	166	41.1%	-1.5%
無回答	2	0.6%	0	0.0%	0.6%
計	336	100.0%	404	100.0%	



【分析】

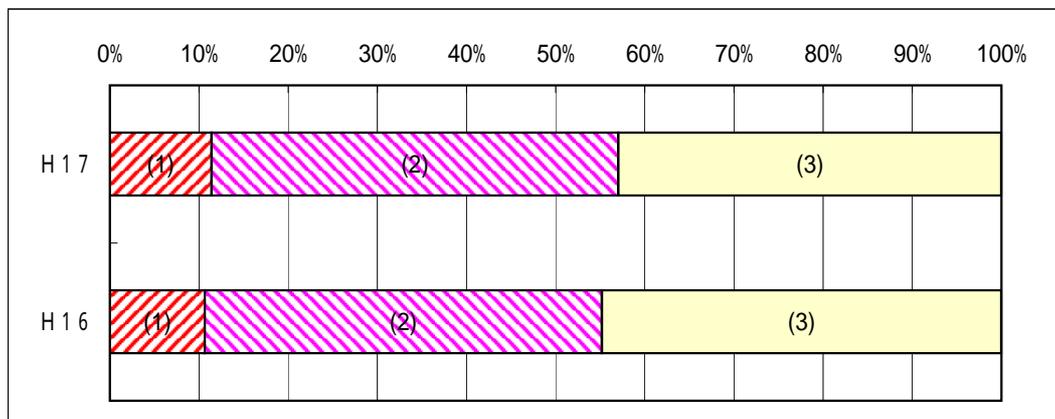
- ・ 昨年と比較すると、「健全と思う」と回答した者がやや減少し、「健全と思わない」と回答した者がやや増加したが、「わからない」と回答した者の割合はほとんど変化していない。

【対応策】

- ・ アクションプラン「意識改革」における財政状況説明会を実施していくことで、理解度を高める。

- 5 大淀町の住民は、現在の住民サービスに満足していると思いますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 思う	38	11.3%	43	10.6%	0.7%
(2) 思わない	152	45.2%	180	44.6%	0.7%
(3) わからない	143	42.6%	181	44.8%	-2.2%
無回答	3	0.9%	0	0.0%	0.9%
計	336	100.0%	404	100.0%	



【分析】

- ・ 昨年と比較して、数値的な変化はほとんど見られない。

【対応策】

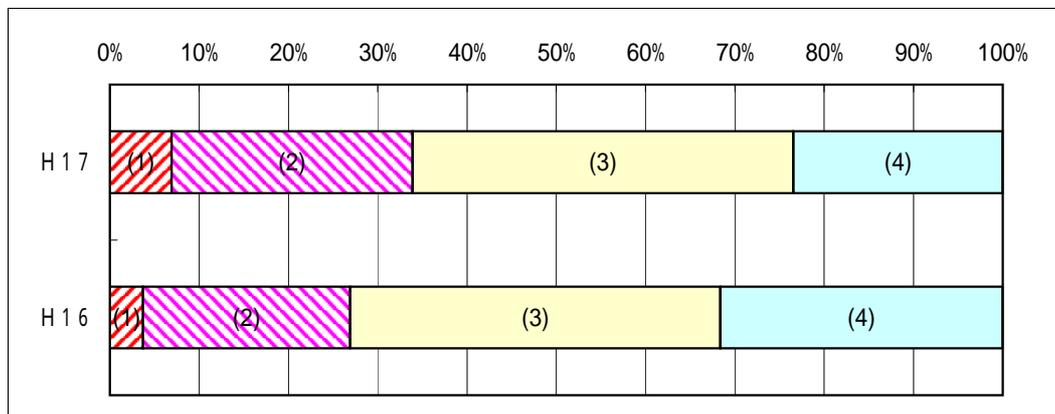
- ・ アクションプラン「住民参加」における情報収集を進め、住民は行政に対して何を求めているのか調査し、結果を職員へ周知し、行政サービスへ反映することで、行政サービスに対する提供と享受のバランスを適正化できると考える。

【全体としての対応策】

- ・ アクションプラン「意識改革」の職員研修、職員間の情報の共有を進めることによって、少なくとも「わからない」、「知らない」と回答した者の改善を図る。

- 1 大淀町は昭和60年度及び平成10年度に行政改革大綱を策定し、これまでも行財政改革に取り組んでいることを知っていますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 大綱の内容を理解している	23	6.8%	15	3.7%	3.1%
(2) 大綱があることは知っている	90	26.8%	94	23.2%	3.6%
(3) 行財政改革に取り組んでいることは知っている	142	42.3%	168	41.5%	0.8%
(4) まったく知らない	78	23.2%	128	31.6%	-8.4%
無回答	3	0.9%	0	0.0%	0.9%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

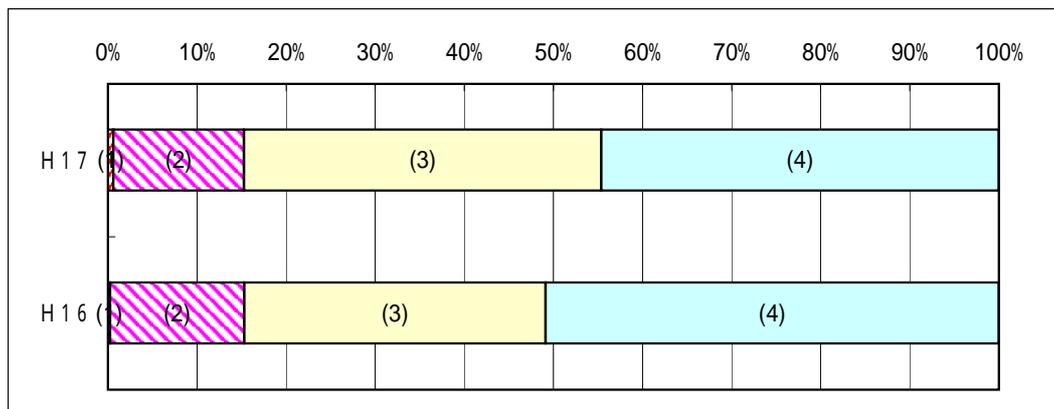
- ・ 昨年と比較して「全く知らない」と回答した者が減っていることから、行革に対する職員の関心の高まりがうかがえる。

【対応策】

- ・ 特に必要なし。

- 2 これまでの行財政改革の取り組みは効果が出ていると思いますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 非常に効果が出ていると思う	2	0.6%	1	0.2%	0.3%
(2) 効果が出ていると思う	49	14.6%	61	15.1%	-0.5%
(3) 効果は出していない	134	39.9%	137	33.8%	6.1%
(4) わからない	149	44.3%	206	50.9%	-6.5%
無回答	2	0.6%	0	0.0%	0.6%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

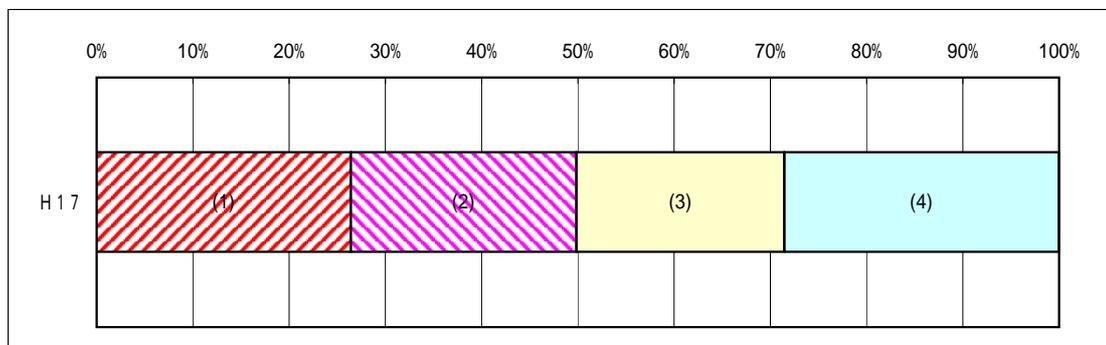
- ・ 昨年と比較すると、「効果が出ている」と回答した者が減少している。

【対応策】

- ・ 「リフォームプランおおよど」を全庁的に推進していく。

- 3 リフォームプランおおよどを知っていますか

	平成17年度	
	回答数	構成比
(1) 内容を理解している	88	26.2%
(2) 策定されたことは知っている	78	23.2%
(3) 行財政改革に取り組んでいることは知っている	72	21.4%
(4) まったく知らない	95	28.3%
無回答	3	0.9%
計	336	100.0%



【分析】

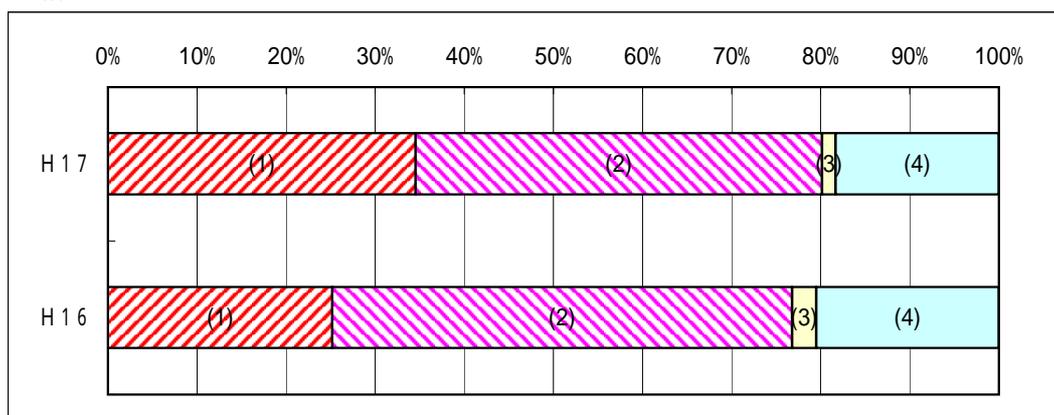
- ・ 昨年一年間、全庁的な取り組みにより策定した「リフォームプランおおよど」であるため、「内容を理解している」「策定されたことは知っている」「行財政改革に取り組んでいることは知っている」を合わせると70%となった。しかしながら、30%弱の職員が「知らない」と回答している。

【対応策】

- ・ 「リフォームプランおおよど」の実行には、全庁的な取り組みが必要不可欠であるため、大淀町行財政改革推進本部員を中心とし、全職員への周知徹底を図る。

- 4 今後、行財政改革が必要であると思いますか

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 今すぐ必要である	115	34.2%	102	25.2%	9.0%
(2) どちらかといえば必要である	152	45.2%	209	51.6%	-6.4%
(3) 必要はない	5	1.5%	11	2.7%	-1.2%
(4) わからない	61	18.2%	83	20.5%	-2.3%
無回答	3	0.9%	0	0.0%	0.9%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

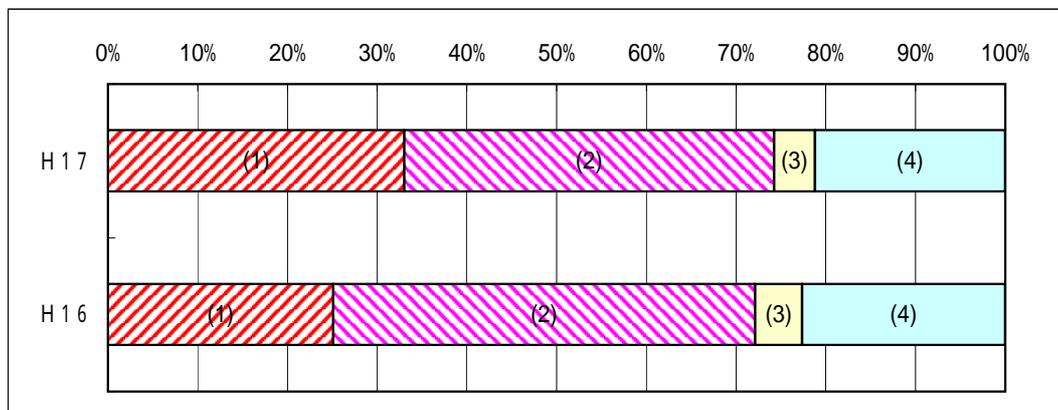
- ・ 昨年と比較して、「今すぐ必要である」と回答した者が増加した。

【対応策】

- ・ 職員の間でも昨年よりも行革に対する必要性が認識され、かつその緊急性も感じている者が多いことから、「リフォームプランおおよど」を確実に取り組まなければならない。

- 5 どの程度必要か (1)大規模ハード事業の抑制

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	109	32.4%	101	24.9%	7.5%
(2) いずれ必要	136	40.5%	189	46.7%	-6.2%
(3) 不必要	15	4.5%	21	5.2%	-0.7%
(4) わからない	70	20.8%	91	22.5%	-1.6%
無回答	6	1.8%	3	0.7%	1.0%
計	336	100.0%	405	100.0%	



[分析]

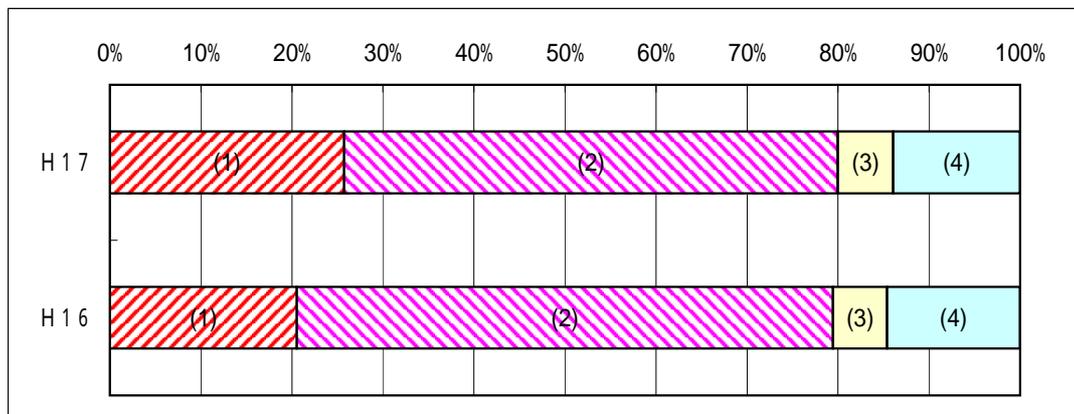
- ・ 昨年と比較すると、「即刻必要」と回答した者が増加し「いずれ必要」と回答した者が減少した。職員においては、緊急性を感じている者が多くなったと考える。

[対応策]

- ・ 「リフォームプランおおよど」本編23ページに記載のとおり、これまでとは違った行政課題への対応方法が必要である。
- ・ 大規模ハード事業の抑制には、それを求める住民の理解が必要であることから、アクションプラン「住民参加」の情報の提供において財政状況等を住民へ説明するとともに、理解を求める。

- 5 どの程度必要か (2)現有施設の統廃合

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	85	25.3%	83	20.5%	4.8%
(2) いずれ必要	179	53.3%	238	58.8%	-5.5%
(3) 不必要	20	6.0%	24	5.9%	0.0%
(4) わからない	46	13.7%	59	14.6%	-0.9%
無回答	6	1.8%	1	0.2%	1.5%
計	336	100.0%	405	100.0%	



[分析]

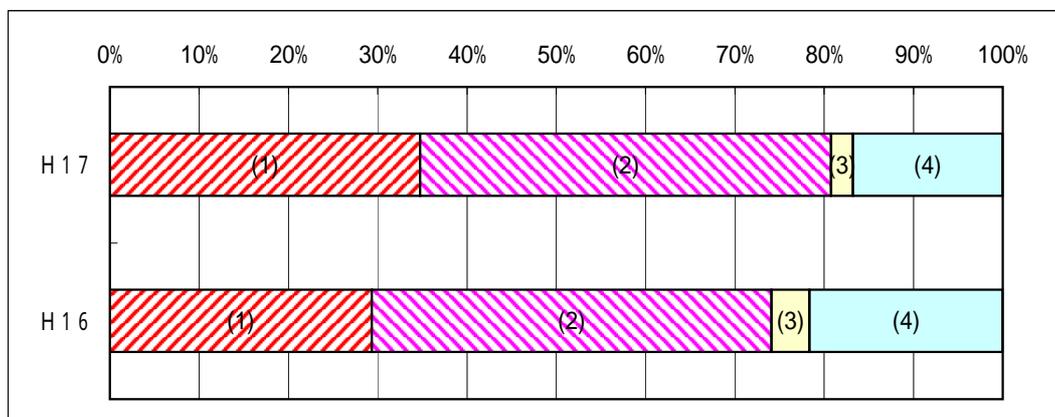
- ・ 昨年と比較すると、「即刻必要」と回答した者がやや増加したが、「いずれ必要」と回答した者と合わせるとほぼ横ばいとなった。

[対応策]

- ・ アクションプラン「事務改善」の公共施設のあり方の検討において統廃合計画を策定していく。
- ・ 統廃合の実施については、意見、改善提案にもあるように、稼働率だけではなく、その施設の目的、有用性を考慮したうえで行わなければならない。また、利用者に対する説明、理解を求めることも必要である。

- 5 どの程度必要か (3)事務事業の見直しまたは簡素化

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	114	33.9%	118	29.1%	4.8%
(2) いずれ必要	151	44.9%	180	44.4%	0.5%
(3) 不必要	8	2.4%	17	4.2%	-1.8%
(4) わからない	55	16.4%	87	21.5%	-5.1%
無回答	8	2.4%	3	0.7%	1.6%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

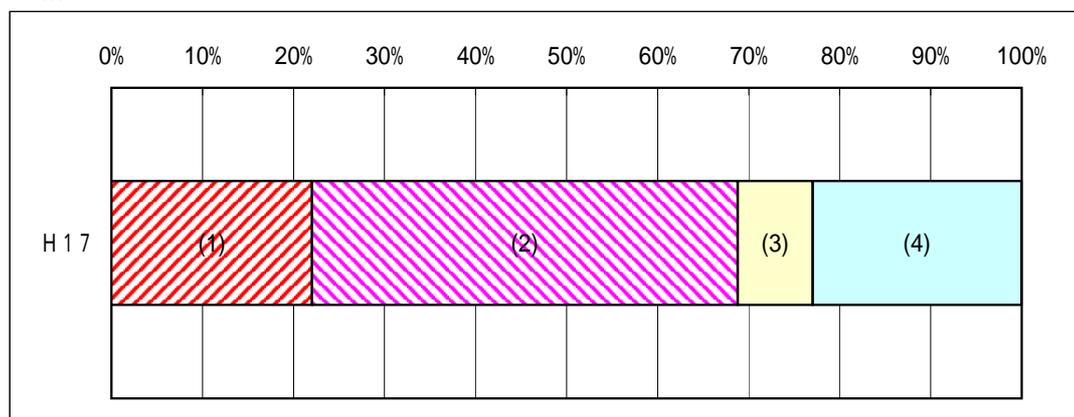
- ・「即刻必要」と回答した者が他の質問よりも、比較的多く、職員の間では緊急性を強く感じている者が多いと言える。

【対応策】

- ・事務事業改善計画に基づき、着実な改善の実行をめざす。
- ・アクションプラン「組織改革」において効率的な組織の再編をめざす。

- 5 どの程度必要か (4)行政評価(内部・外部)の確立

	平成17年度	
	回答数	構成比
(1) 即刻必要	72	21.4%
(2) いずれ必要	153	45.5%
(3) 不必要	27	8.0%
(4) わからない	75	22.3%
無回答	9	2.7%
計	336	100.0%



【分析】

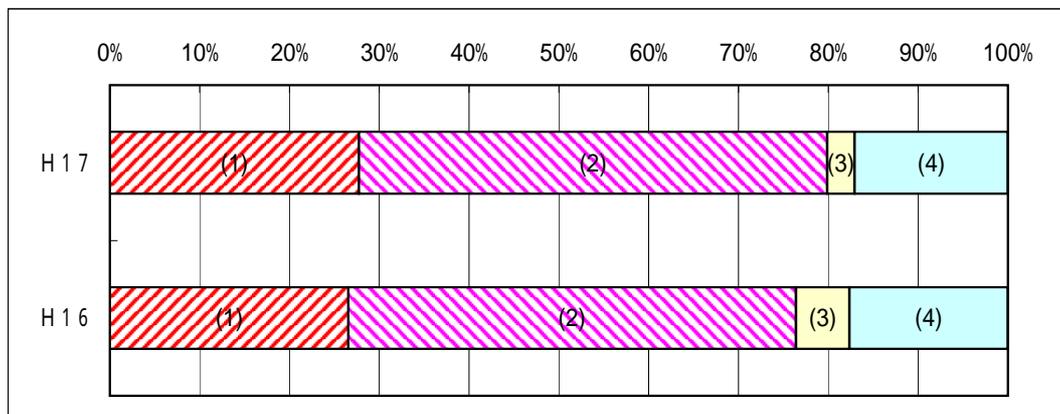
- ・今年度新たに設けた設問であるが、その必要性には比較的理解を示している。

【対応策】

- ・アクションプラン「事業評価」を取り組むことで実現をめざす。ただし、意見、改善提案にもあるように事務が過大にならないよう工夫が必要であると考え。

- 5 どの程度必要か (5)受給者負担の適正化

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	91	27.1%	107	26.4%	0.7%
(2) いずれ必要	171	50.9%	201	49.6%	1.3%
(3) 不必要	10	3.0%	24	5.9%	-2.9%
(4) わからない	56	16.7%	71	17.5%	-0.9%
無回答	8	2.4%	2	0.5%	1.9%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

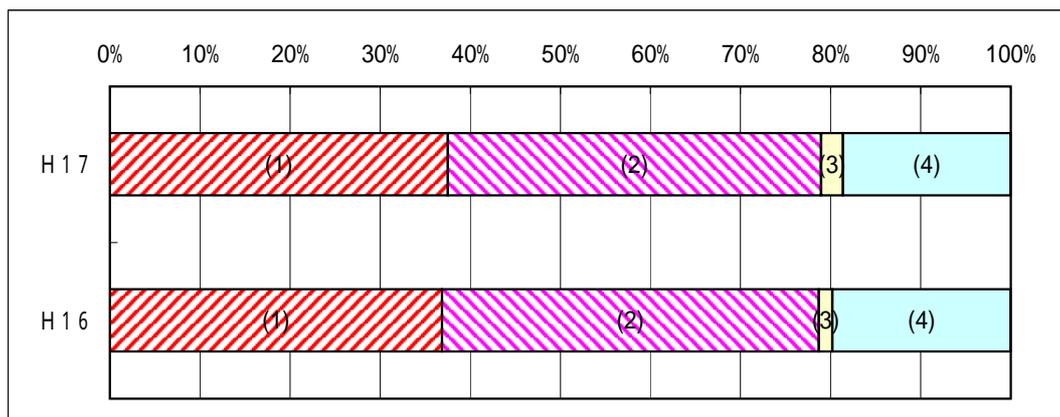
- ・ 昨年と比較して、数値的な変化はほとんど見られない。

【対応策】

- ・ アクションプラン「健全財政」の受益者負担金の適正化において実施していく。

- 5 どの程度必要か (6)歳入の確保

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	123	36.6%	149	36.8%	-0.2%
(2) いずれ必要	136	40.5%	169	41.7%	-1.3%
(3) 不必要	8	2.4%	6	1.5%	0.9%
(4) わからない	61	18.2%	80	19.8%	-1.6%
無回答	8	2.4%	1	0.2%	2.1%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

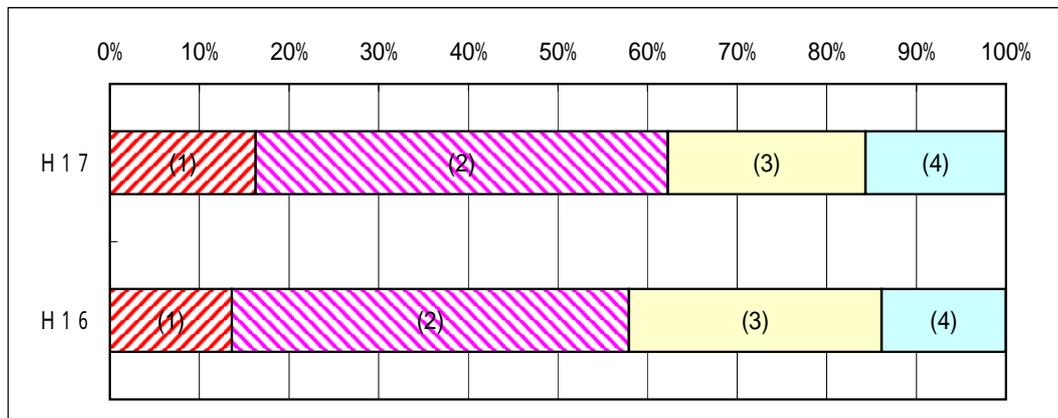
- ・ 昨年と比較して、数値的な変化はほとんど見られない。

【対応策】

- ・ アクションプラン「健全財政」の収入額の向上対策において実施していく。

- 5 どの程度必要か (7)人件費の削減

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	53	15.8%	55	13.6%	2.2%
(2) いずれ必要	150	44.6%	179	44.2%	0.4%
(3) 不必要	72	21.4%	114	28.1%	-6.7%
(4) わからない	51	15.2%	56	13.8%	1.4%
無回答	10	3.0%	1	0.2%	2.7%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

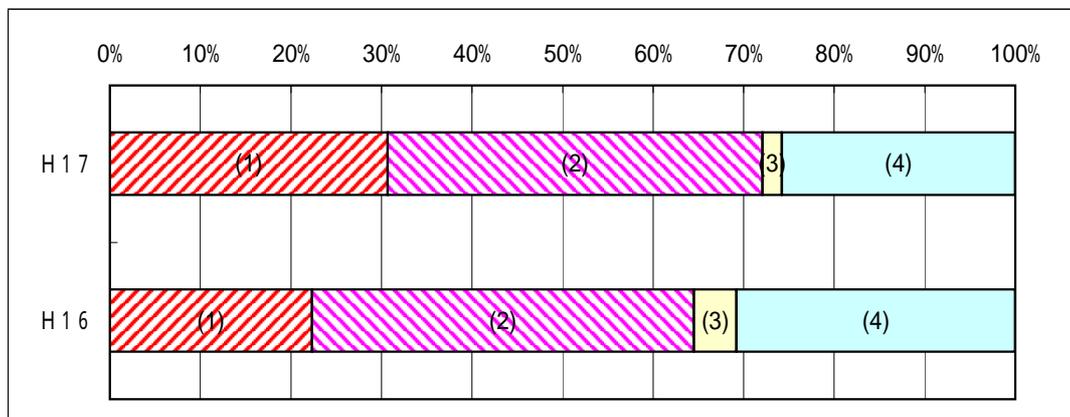
- ・ 昨年と比較すると「不必要」と回答した者が減少した。
- ・ - 5の他の項目と比較すると、必要度はやや低い状態である。
- ・ 他の設問に比べ、病院に対する意見、改善提案が多い。

【対応策】

- ・ 国の動向から考えても、検討をしていかなければならない項目であり、アクションプラン「組織改革」の中の給与及び手当の見直し、「健全財政」の中で職員手当等の廃止、見直しについて検討する。
- ・ 職員手当等以外の部分については、国の動向を見ながら別途検討する必要があると考える。
- ・ 検討にあたっては、職員の志気への影響も配慮が必要であるとする。

- 5 どの程度必要か (8)組織及び機構の見直し

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	100	29.8%	90	22.2%	7.5%
(2) いずれ必要	135	40.2%	170	42.0%	-1.8%
(3) 不必要	7	2.1%	19	4.7%	-2.6%
(4) わからない	84	25.0%	124	30.6%	-5.6%
無回答	10	3.0%	2	0.5%	2.5%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

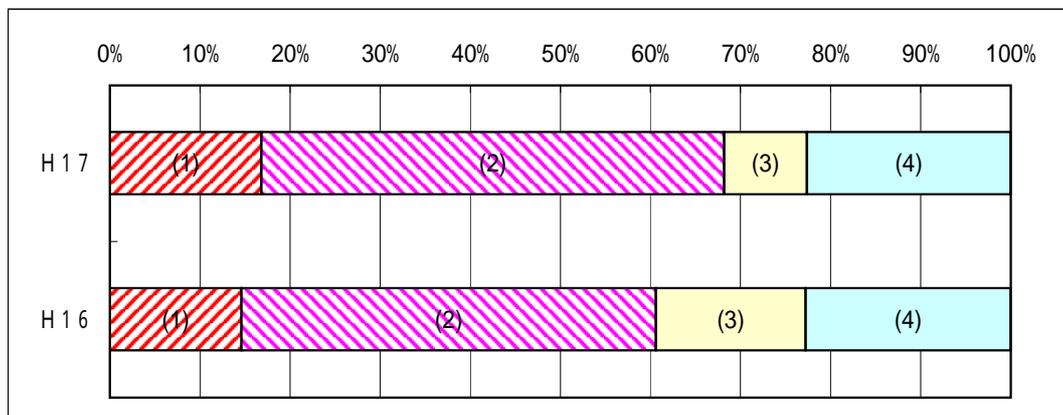
- ・ 昨年度と比較して「即刻必要」と回答した者が増加した。

【対応策】

- ・ アクションプラン「組織改革」において実施する。

- 5 どの程度必要か (9)アウトソーシングの推進

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	55	16.4%	59	14.6%	1.8%
(2) いずれ必要	168	50.0%	186	45.9%	4.1%
(3) 不必要	30	8.9%	67	16.5%	-7.6%
(4) わからない	74	22.0%	92	22.7%	-0.7%
無回答	9	2.7%	1	0.2%	2.4%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

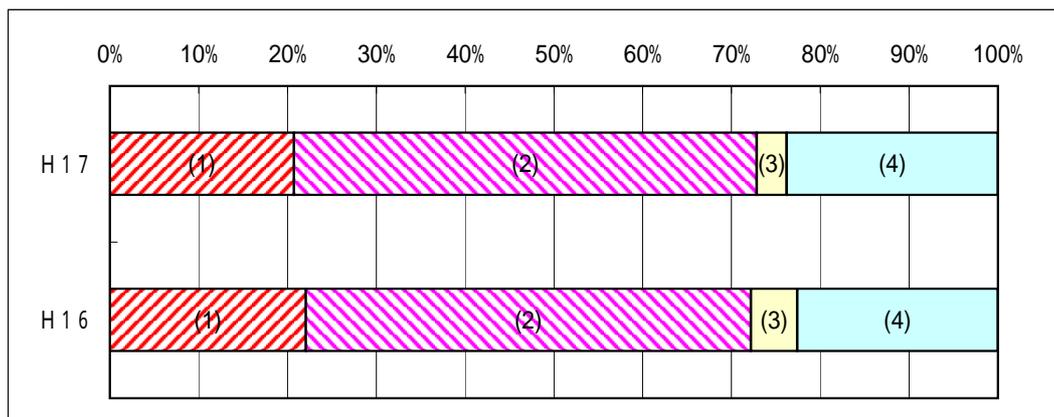
・ 昨年度と比較して、「不必要」と回答した者が減少した。

【対応策】

・ アクションプラン「事務改善」の民間委託の推進において実施する。

- 5 どの程度必要か (10)住民との協働

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	68	20.2%	89	22.0%	-1.7%
(2) いずれ必要	171	50.9%	202	49.9%	1.0%
(3) 不必要	11	3.3%	21	5.2%	-1.9%
(4) わからない	78	23.2%	91	22.5%	0.7%
無回答	8	2.4%	2	0.5%	1.9%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

・ 昨年と比較して、数値的な変化はほとんど見られない。

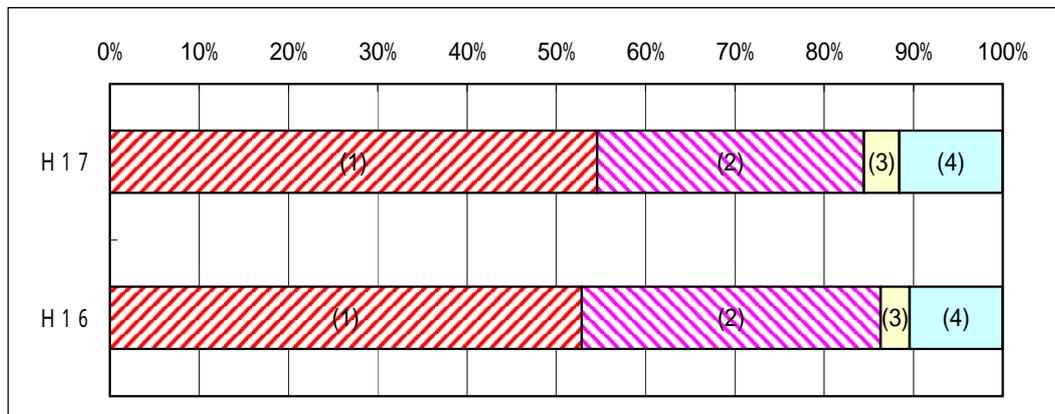
【対応策】

・ アクションプラン「住民参加」において実施する。

・ 意見、改善提案にも記載があるとおり、実施にあたっては、職員、住民それぞれの役割を認識しなければならない。

- 5 どの程度必要か (11)職員の意識改革

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	179	53.3%	213	52.6%	0.7%
(2) いずれ必要	98	29.2%	135	33.3%	-4.2%
(3) 不必要	13	3.9%	13	3.2%	0.7%
(4) わからない	38	11.3%	42	10.4%	0.9%
無回答	8	2.4%	2	0.5%	1.9%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

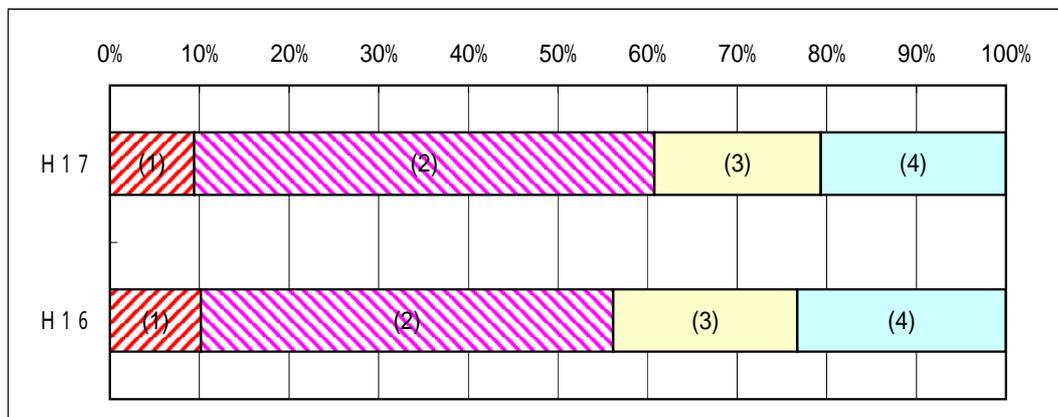
- ・ 昨年と比較すると、数値的な変化はほとんど見られないが、 - 5の他の項目のうち、緊急性、必要性が強い項目である。

【対応策】

- ・ 職員の意識改革については、行財政改革の実行に多大な影響をおよぼす項目であるため、早急にアクションプラン「意識改革」に取り組む必要がある。

- 5 どの程度必要か (12)市町村合併の推進

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 即刻必要	31	9.2%	41	10.1%	-0.9%
(2) いずれ必要	169	50.3%	186	45.9%	4.4%
(3) 不必要	61	18.2%	83	20.5%	-2.3%
(4) わからない	68	20.2%	94	23.2%	-3.0%
無回答	7	2.1%	1	0.2%	1.8%
計	336	100.0%	405	100.0%	



【分析】

- ・ 昨年と比較すると、緊急性はやや弱まっているが、「いずれ必要」と感じている職員は増加している。

【対応策】

- ・ 本町における市町村合併については、一応の終結をしているところであるが、職員の半数以上が合併の必要性を考えている。「リフォームプランおおよど」では市町村合併に関する記載はないため、別途検討(国の動向確認、近隣市町村の動向確認)をしていかなければならない。

【全体としての分析】

- ・ 昨年と比較すると、全体的には「リフォームプランおおよど」に理解を示している職員が増えていると言える。
- ・ - 5の設問の各項目への必要性を見てみると、いずれも6割以上の職員が「即刻必要」または「いずれ必要」と回答している。
- ・ 職員が、必要性を強く感じているのは、「意識改革」「事務事業の見直し」である。

【全体としての対応策】

- ・ 「リフォームプランおおよど」の理解度、各取り組みへの必要性から考えて、「リフォームプランおおよど」の実行に向けての準備は出来てきていると考えられる。したがって、これまで以上に本部員を中心とした全庁的な取り組みのもと、行財政改革を進めなければならない。
- ・ - 5の設問については、市町村合併の推進を除き、すべて「リフォームプランおおよど」においてその必要性を掲げている項目である。しかしながら、すべて「わからない」と回答している職員も見受けられるため、再度「リフォームプランおおよど」についての理解を求めなければならない。

から 各設問に関する意見・改善提案

	平成17年度	
	回答数	構成比
(1) 記述有り	40	11.9%
無回答	296	88.1%
計	336	100.0%

自由記入欄

	平成17年度		平成16年度		構成比の比較
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 記述有り	33	9.8%	62	15.3%	-5.5%
無回答	303	90.2%	343	84.7%	5.5%
計	336	100.0%	405	100.0%	